

2026年4月1日
一般社団法人土地改良建設協会

2026年度国営事業地区等フィールド調査学生支援事業実施要領

1 趣旨

将来に亘って土地改良事業を円滑に推進していくためには、若い技術者の育成・確保が極めて重要であり、農業農村工学系の学科・講座において国営事業地区等をフィールドとした学術研究が安定的に継続されることが不可欠である。そのため、農業農村工学系を専攻する大学生（以下「学生」という。）が、そのような学術研究に担当教員の指導を得て関わることで土地改良事業に高い関心を持つようになることは、大変有意義と思料される。

このような観点から、一般社団法人土地改良建設協会において、農林水産省及び（公社）農業農村工学会等の協力を得て、国営事業地区等を対象とした学生の学術研究を奨励するため、学生が国営事業地区等のフィールド調査を行うのに必要な諸経費等を支援するものである。

2 対象

農業農村工学系の学科、講座の担当教員（農業農村工学会会員）の指導を得て、国営事業地区等のフィールド調査を行い、卒業論文等（修士論文も含む）を作成する大学の学部学生及び大学院生で次の要件を満たす者。

- ・農業農村工学系の学科、講座に属する応募時27才以下の学生。
- ・募集年度において学部学生は4年生、大学院生は修士1年又は2年生であり、過去に本事業による支援を受けていないこと。
- ・国営事業地区等（調査中地区、事業完了地区、国営事業受益地区内の県営事業地区でも可）を対象として2泊3日以上のフィールド調査を行うこと（1泊2日を2回以上、日帰り4日以上も可）。
- ・フィールド調査の1日目に、指導担当教員とともに国営事業所もしくは調査管理事務所より事業概要等の説明を受けること。
- ・作成した卒業論文等の内容を（公社）農業農村工学会の会誌または論文集に投稿すること（学会の全国講演会または支部講演会での発表でも可。投稿、発表は支援年度の翌年度でも可）。

また、（一社）土地改良建設協会の会誌「土地改良」に概要を掲載すること（2027年2月26日（金）までに原稿提出）。

- ・指導担当教員は、支援を受けた学生の進路先（民間企業であれば、企業名）を卒業年の3月末までに報告すること（修士1年生が含まれている場合は、その者についても報告）。

3 支援内容

(1) 諸経費の支援

- ① フィールド調査の実施に必要な交通費、宿泊費を学生に支給する。
なお、交通費には現地調査に必要なレンタカー使用料（ガソリン代、保険料等も含む）等も含む。
- ② 現地調査及び卒業論文等の作成、発表等に必要な物品や消耗品等の購については、①の総額を超えない範囲で、上限を3万円として支給する。
- ③ 支援額の上限は、①と②の合計額として、学生1人に対して10万円とする（ただし、1大学に対する支援額は20万円を限度とする）。同じ国営事業地区のフィールド調査を複数（原則3名まで）の学生で行う場合にも、1大学20万円までとする。

(2) 農政局等に対する支援要請

フィールド調査の対象となる国営事業地区等について、円滑なフィールド調査が実施できるよう現地の案内、必要となる資料の提供等の協力を農林水産省及び地方農政局等（北海道開発局、沖縄総合事務局を含む）に対して一般社団法人土地改良建設協会から要請する。

4 支援金の支給方法

支援決定後、一般社団法人土地改良建設協会から学生の銀行口座に③の上限額を事前に振り込み、学生は支援年度内でフィールド調査完了後に指導担当教員を通じ領収証等を添付して支出報告を行い、残額が発生した場合には、原則、学生は当協会にその額を返金することとする。

なお、指導担当教員から申し出がある場合には、大学または指導担当教員名の銀行口座等に振り込むこととし、支出報告や残額の返金等は指導担当教員が行う。ただし、この場合であっても、あくまで学生への支援であるので、大学への寄付行為等の手続きは行わないこととする。

5 応募方法等

(1) 応募方法

一般社団法人土地改良建設協会のホームページ及び公益社団法人農業農村工学会の会誌等で公告し、様式1により推薦する学生名、学年、住所、研究テーマ、対象とする国営事業地区名、研究内容の概要、フィールド調査の期間等を記した応募を指導担当教員から受け付けることとする。応募多数の場合には、国営事業との関連性、フィールド調査の頻度、内容等から支援の必要性の高いものについて、順次、支援を決定する。

(2) 応募期間

第1次決定 2026年4月13日(月)から5月22日(金)までの間に受け付けたものから、14名程度を決定

第2次決定 2026年4月13日(月)から7月24日(金)までの間に受け付けたものから、6名程度を決定

(3) 支援額の送金

支援対象となった学生(指導担当教員の申し出により大学または指導担当教員名の銀行口座に振り込む場合は、当該指導担当教員)は、フィールド調査の実施時期、調査内容、農政局等から得ようとする支援内容、支援額の振込み銀行口座名等を別途指示する様式で一般社団法人土地改良建設協会に報告し、同協会はこれを受けて支援額を同口座に振込むこととする。

(4) その他

3の(1)の諸経費については、支援対象決定日以前であっても、2026年4月1日(水)以降の支出であって、領収書等で内容を確認できる場合は、支援の対象とする。